

経営として取り組む重要課題とKPI

住友化学は、2018年度に経営として取り組む重要課題を特定しました。これらの重要課題は、サステナビリティに貢献するための課題を俯瞰的に検証した上で整理し、経営層による審議・承認を経て特定されました。その後、社会状況の変化等を踏まえ、2021年度に見直しが行われました。重要課題は、「持続的な価値創出のための重要課題」と「事業継続のための基盤」に分類されます。「持続的な価値創出のための重要課題」のうち、事業機会創出につながる課題を「社会価値創出に関する重要課題」、事業機会創出の原動力となるリソースを「将来の価値創造に向けた重要課題」と位置づけ、各取り組みについて主要取り組み指標（KPI）を設定しています。KPIを活用して取り組みの進捗状況の管理と開示を進めるとともに、社内外のステークホルダーとの対話を推進し、取り組みの充実と加速につなげていきます。

重要課題の特定・見直しプロセス、および各KPIの詳細についてはサステナビリティレポートをご参照ください。

→ 経営として取り組む重要課題（サステナビリティレポート）

持続的な価値創出のための重要課題

	KPI	目標	実績
環境分野への 貢献	グループのGHG排出量 (Scope1+2) <small>※ Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス) ※ Scope2: 工場外からの電力・熱の購入などによる間接的な排出</small>	2030年までに2013年度対比50%削減(477万トン)	
	製品ライフサイクルを通じたGHG排出削減貢献量 (電池関連)	製品の開発・提供によるライフサイクルを通じたGHG排出削減への貢献	
	Sumika Sustainable Solutions 認定製品の売上収益	2030年度までに1兆2,000億円	
	エネルギー消費原単位指数	各中期経営計画の3年間に3%以上改善(2021年度基準)	
	石油化学関連ライセンス数(単体)	技術ライセンスによる環境負荷低減技術の普及への貢献	2023年度 13 ライセンス
	製造プロセスに使用したプラスチック再生資源の量	2030年までに20万トン/年	
	食糧分野への 貢献	鶏などの動物性たんぱく源の増産効果	飼料添加物の開発・提供による、鶏肉を中心とした動物性たんぱく源の増産への継続的貢献
アグロソリューション資材が使用された農地面積		アグロソリューション資材の開発・提供による、食糧の安定供給への継続的貢献	
社会価値創出に関する重要課題			

	KPI	目標	実績	
社会価値創出に関する重要課題	昆虫媒介性感染症対策資材により守られた人数	オリセッド® ネット等の昆虫媒介性感染症対策資材の開発・普及による、感染症からの保護		
	ICT関連分野への貢献	多様な医療ニーズに対応する革新的な医薬品や医療ソリューションの持続的創出	マテリアルイシューの目標およびKPI 詳細はこちら 住友ファーマHP	
将来の価値創造に向けた重要課題	偏光フィルムを使用したモバイル端末数	モバイル端末情報機器向けの技術開発による多様な働き方や生産性の向上への貢献		
	特許資産規模	特許資産規模を高い水準で維持		
	DXによる競争力強化	デジタル成熟度	デジタル成熟度の持続的なレベルアップ	
	人材 DE&I [®] 、育成・成長、健康	管理社員(課長職相当)登用者における女性比率(単体)	2023~2027年度の平均で15%以上	2023年度 29.0 %
	自己応募型研修プログラムの受講率(単体)	子が出生した男性社員について、育児休業もしくは育児関連諸休暇の当年度中取得率(単体)	2024年度までに全社員の50%以上	90%以上 2023年度 97.3 %
『健康経営優良法人(ホワイト500)』の継続認定(単体)	継続認定		 2017年度より7年継続認定 	

事業継続のための基盤

- 労働安全衛生・保安防災
→ 労働安全衛生・保安防災(サステナビリティレポート)
- 人権尊重
→ 人権尊重(サステナビリティレポート)
- コンプライアンス
→ コンプライアンス(サステナビリティレポート)
- 製品安全・品質保証
→ プロダクトセキュリティ・品質保証(サステナビリティレポート)
- サイバーセキュリティ
→ サイバーセキュリティ(サステナビリティレポート)
- 腐敗防止
→ 腐敗防止(サステナビリティレポート)